

表 8 - 1 入学生募集のための広告の有無

	養成所 n=173 (%)	短大 n=40 (%)	大学 n=30 (%)	計 n=243 (%)
有	92 (53.2)	20 (50.0)	17 (56.7)	129 (53.1)
無	77 (44.5)	18 (45.0)	13 (43.3)	108 (44.4)
NA	4 (2.3)	2 (5.0)		6 (2.5)

表 8 - 2 入学生募集広告の掲示方法

複数回答

	養成所 n=92 (%)	短大 n=20 (%)	大学 n=17 (%)	計 n=129 (%)
医療・看護系雑誌	41 (44.6)	8 (40.0)	8 (47.1)	57 (44.2)
広報	34 (37.0)	7 (35.0)	4 (23.5)	45 (34.9)
新聞	15 (16.3)	12 (60.0)	10 (58.8)	37 (28.7)
病院	26 (28.3)	2 (10.0)	1 (5.9)	29 (22.5)
一般の雑誌	5 (5.4)	5 (25.0)	3 (17.6)	13 (10.1)
役所	12 (13.0)			12 (9.3)
駅舎	6 (6.5)	1 (5.0)	3 (17.6)	10 (7.8)
電車・バス	2 (2.2)	2 (10.0)	3 (17.6)	7 (5.4)
テレビ	5 (5.4)		1 (5.9)	6 (4.7)
ラジオ	3 (3.3)		1 (5.9)	4 (3.1)
その他	29 (31.5)	6 (30.0)	5 (29.4)	40 (31.0)

表 9 - 1 応募者の変化

	養成所 n=173 (%)	短大 n=40 (%)	大学 n=30 (%)	計 n=243 (%)
変化なし	71 (41.0)	19 (47.5)	12 (40.0)	102 (42.0)
減った	65 (37.6)	13 (32.5)	14 (46.7)	92 (37.9)
増えた	33 (19.1)	7 (17.5)	3 (10.0)	43 (17.7)
NA	4 (2.3)	1 (2.5)	1 (3.3)	6 (2.5)

表9-2 応募者の増加した要因

複数回答

	養成所 n=33 (%)	短大 n=7 (%)	大学 n=3 (%)	計 n=43
授業料がやすい	21 (63.6)	3 (42.9)	1 (33.3)	25 (58.1)
就職率が高い	15 (45.5)	3 (42.9)	2 (66.7)	20 (46.5)
実習場所の評判がよい	11 (33.3)	1 (14.3)	1 (33.3)	13 (30.2)
学生寮がある	12 (36.4)	1 (14.3)		13 (30.2)
国家試験の合格率が高い	8 (24.2)	2 (28.6)	1 (33.3)	11 (25.6)
受験方法を変更	8 (24.2)	1 (14.3)		9 (20.9)
教職員の質が高い	4 (12.1)	2 (28.6)	2 (66.7)	8 (18.6)
施設設備を新しくした	6 (18.2)	2 (28.6)		8 (18.6)
教育内容に特色	6 (18.2)		2 (66.7)	8 (18.6)
地域の高校生数が増加した	4 (12.1)	1 14.3		5 (11.6)
PR方法を工夫した	3 (9.1)			3 (7.0)
国際的視野を広める機会	2 (6.1)		1 (33.3)	3 (7.0)
その他	8 (24.2)	2 28.6		10 (23.3)
NA	1 (3.0)		1 (33.3)	2 (4.7)

表9-3 応募者の減少した要因

複数回答

	養成所 n=65 (%)	短大 n=13 (%)	大学 n=14 (%)	計 n=92 (%)
看護教育機関・定員の増加	46 (70.8)	10 (76.9)	9 (64.3)	65 (70.7)
地域の高校生が減少	43 (66.2)	6 (46.2)	5 (35.7)	54 (58.7)
PRが不足	13 (20.0)	5 (38.5)	3 (21.4)	19 (20.7)
施設設備が老朽化	16 (24.6)	3 (23.1)		17 (18.5)
授業料が高い	13 (20.0)	2 (15.4)		15 (16.3)
学生寮の老朽化や廃止	12 (18.5)			12 (13.0)
受験科目が負担	6 (9.2)	1 (7.7)		11 (12.0)
教職員の確保が困難	8 (12.3)			8 (8.7)
教育内容に特色がない	5 (7.7)			5 (5.4)
実習場所の確保が困難	3 (4.6)			4 (4.3)
視野を広める機会が少ない	4 (6.2)			3 (3.3)
国家試験の合格率が低い	2 (3.1)			2 (2.2)
就職率が低い				(0.0)
その他	18 (27.7)	5 (38.5)	4 (28.6)	27 (29.3)

表 10-1 応募者の質的变化の有無

	養成所 n=173 (%)	短大 n=40 (%)	大学 n=30 (%)	計 n=243 (%)
有	152 (87.9)	26 (65.0)	7 (23.3)	185 (76.1)
無	17 (9.8)	11 (27.5)	22 (73.3)	50 (20.6)
NA	4 (2.3)	3 (7.5)	1 (3.3)	8 (3.3)

表 10-2 応募者の質的变化の特徴

複数回答

	養成所 n=152 (%)	短大 n=26 (%)	大学 n=7 (%)	計 n=185 (%)
基礎学力が低くなっている	122 (80.3)	19 (73.1)	1 (14.3)	142 (76.8)
短大・大学の卒業者が増える	93 (61.2)	14 (53.8)	2 (28.6)	109 (58.9)
看護婦にならなくてもいい	40 (26.3)	4 (15.4)	1 (14.3)	45 (24.3)
職業高校からの入学者が増えた	23 (15.1)	3 (11.5)	1 (14.3)	27 (14.6)
基礎学力が高くなった	16 (10.5)	2 (7.7)	4 (57.1)	22 (11.9)
看護婦になりたい人が増えた	14 (9.2)	3 (11.5)	2 (28.6)	19 (10.3)
その他	18 (11.8)	1 (3.8)		19 (10.3)
無回答	1 (0.7)			1 (0.5)

教育の充実とあり方

[教育方法]

教育目標の達成と自己学習力の育成

表1-1 教育目標の達成

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
6. とてもそうである	11	36.7%	14	35.0%	36	20.8%	61	25.1%
5.	10	33.3%	20	50.0%	69	39.9%	99	40.7%
4.	7	23.3%	3	7.5%	50	28.9%	60	24.7%
3.		0.0%	3	7.5%	17	9.8%	20	8.2%
2		0.0%		0.0%		0.0%	0	0.0%
1. 全然そうでない		0.0%		0.0%		0.0%	0	0.0%
無回答	2	6.7%		0.0%	1	0.6%	3	1.2%

表1-2 自己学習力

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
6. とてもそうである	5	16.7%	4	10.0%	9	5.2%	18	7.4%
5.	17	56.7%	20	50.0%	42	24.3%	79	32.5%
4.	5	16.7%	10	25.0%	59	34.1%	74	30.5%
3.	1	3.3%	5	12.5%	46	26.6%	52	21.4%
2		0.0%	1	2.5%	14	8.1%	15	6.2%
1. 全然そうでない		0.0%		0.0%	2	1.2%	2	0.8%
無回答	2	6.7%		0.0%	1	0.6%	3	1.2%

学生の能力、ニーズに合わせるための方法

表2-1 補強教育

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
はい	7	23.3%	10	25.0%	66	38.2%	83	34.2%
いいえ	20	66.7%	30	75.0%	104	60.1%	154	63.4%
無回答	3	10.0%		0.0%	3	1.7%	6	2.5%

表2-2 学力別クラス

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
はい	0	0.0%	2	5.0%	4	2.3%	6	2.5%
いいえ	28	93.3%	38	95.0%	166	96.0%	232	95.5%
無回答	2	6.7%		0.0%	3	1.7%	5	2.1%

表2-3 教育プログラム

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
はい	17	56.7%	26	65.0%	60	34.7%	103	42.4%
いいえ	9	30.0%	14	35.0%	109	63.0%	132	54.3%
無回答	4	13.3%		0.0%	4	2.3%	8	3.3%

学生の意志表示とそのための教師教育

表3-1 表示する機会を多く

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
6. とてもそうである	7	23.3%	7	17.5%	32	18.5%	46	18.9%
5.	12	40.0%	16	40.0%	67	38.7%	95	39.1%
4.	8	26.7%	14	35.0%	53	30.6%	75	30.9%
3.		0.0%	3	7.5%	18	10.4%	21	8.6%
2	1	3.3%		0.0%	2	1.2%	3	1.2%
1. 全然そうでない		0.0%		0.0%		0.0%	0	0.0%
無回答	2	6.7%		0.0%	1	0.6%	3	1.2%

表3-2 教師と学生との交流

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
6. とてもそうである	5	16.7%	7	17.5%	27	15.6%	39	16.0%
5.	11	36.7%	16	40.0%	52	30.1%	79	32.5%
4.	7	23.3%	10	25.0%	43	24.9%	60	24.7%
3.	5	16.7%	6	15.0%	39	22.5%	50	20.6%
2		0.0%	1	2.5%	7	4.0%	8	3.3%
1. 全然そうでない		0.0%		0.0%	2	1.2%	2	0.8%
無回答	2	6.7%		0.0%	3	1.7%	5	2.1%

表3-3 教師トレーニング

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
6. とてもそうである		0.0%		0.0%	2	1.2%	2	0.8%
5.	3	10.0%	3	7.5%	8	4.6%	14	5.8%
4.	4	13.3%	5	12.5%	45	26.0%	54	22.2%
3.	12	40.0%	13	32.5%	44	25.4%	69	28.4%
2	5	16.7%	9	22.5%	36	20.8%	50	20.6%
1. 全然そうでない	4	13.3%	8	20.0%	35	20.2%	47	19.3%
無回答	2	6.7%	2	5.0%	3	1.7%	7	2.9%

表3-4 個々の学生を支援

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
はい	26	86.7%	30	75.0%	52	30.1%	108	44.4%
いいえ	2	6.7%	8	20.0%	118	68.2%	128	52.7%
無回答	2	6.7%	2	5.0%	3	1.7%	7	2.9%

視野の広がりとは者との交流

表4-1 意見の交流

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
6. とてもそうである	9	30.0%	8	20.0%	26	15.0%	43	17.7%
5.	9	30.0%	14	35.0%	53	30.6%	76	31.3%
4.	8	26.7%	15	37.5%	70	40.5%	93	38.3%
3.	2	6.7%	3	7.5%	19	11.0%	24	9.9%
2		0.0%		0.0%	3	1.7%	3	1.2%
1. 全然そうでない		0.0%		0.0%		0.0%	0	0.0%
無回答	2	6.7%		0.0%	2	1.2%	4	1.6%

表4-2 小集団学習

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
6. とてもそうである	9	30.0%	10	25.0%	43	24.9%	62	25.5%
5.	10	33.3%	18	45.0%	48	27.7%	76	31.3%
4.	8	26.7%	7	17.5%	50	28.9%	65	26.7%
3.		0.0%	5	12.5%	26	15.0%	31	12.8%
2		0.0%		0.0%	4	2.3%	4	1.6%
1. 全然そうでない		0.0%		0.0%		0.0%	0	0.0%
無回答	3	10.0%		0.0%	2	1.2%	5	2.1%

表4-3 遠隔地の学校と交流

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
はい	12	40.0%	14	35.0%	8	4.6%	34	14.0%
いいえ	16	53.3%	26	65.0%	162	93.6%	204	84.0%
無回答	2	6.7%		0.0%	3	1.7%	5	2.1%

時代に応じた興味・関心への対応

表5-1 新たな体験

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
6. とてもそうである	3	10.0%	6	15.0%	15	8.7%	24	9.9%
5.	15	50.0%	13	32.5%	53	30.6%	81	33.3%
4.	8	26.7%	15	37.5%	56	32.4%	79	32.5%
3.	1	3.3%	6	15.0%	35	20.2%	42	17.3%
2		0.0%		0.0%	11	6.4%	11	4.5%
1. 全然そうでない		0.0%		0.0%	1	0.6%	1	0.4%
無回答	3	10.0%		0.0%	2	1.2%	5	2.1%

表5-2 課題に取り組む

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
6. とてもそうである	8	26.7%	7	17.5%	8	4.6%	23	9.5%
5.	13	43.3%	14	35.0%	44	25.4%	71	29.2%
4.	6	20.0%	14	35.0%	72	41.6%	92	37.9%
3.	1	3.3%	5	12.5%	40	23.1%	46	18.9%
2		0.0%		0.0%	6	3.5%	6	2.5%
1. 全然そうでない		0.0%		0.0%	2	1.2%	2	0.8%
無回答	2	6.7%		0.0%	1	0.6%	3	1.2%

表5-3 選択科目

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
a. はい	15	50.0%	21	52.5%	11	6.4%	47	19.3%
b. いいえ	12	40.0%	18	45.0%	160	92.5%	190	78.2%
無回答	3	10.0%	1	2.5%	2	1.2%	6	2.5%

表5-4 パソコンを使う授業

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
a. はい	20	66.7%	24	60.0%	65	37.6%	109	44.9%
b. いいえ	7	23.3%	14	35.0%	105	60.7%	126	51.9%
無回答	3	10.0%	2	5.0%	3	1.7%	8	3.3%

看護学の指導方法

表6-1 実践の根拠

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
6. とてもそうである	6	20.0%	11	27.5%	39	22.5%	56	23.0%
5.	15	50.0%	19	47.5%	72	41.6%	106	43.6%
4.	7	23.3%	9	22.5%	49	28.3%	63	25.9%
3.		0.0%	1	2.5%	10	5.8%	11	4.5%
2		0.0%		0.0%	4	2.3%	4	1.6%
1. 全然そうでない		0.0%		0.0%		0.0%	0	0.0%
無回答	2	6.7%		0.0%	1	0.6%	3	1.2%

表6-2 臨地実習の指導

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
6. とてもそうである	6	20.0%	12	30.0%	37	21.4%	55	22.6%
5.	10	33.3%	9	22.5%	67	38.7%	86	35.4%
4.	9	30.0%	12	30.0%	48	27.7%	69	28.4%
3.	2	6.7%	6	15.0%	14	8.1%	22	9.1%
2		0.0%		0.0%	5	2.9%	5	2.1%
1. 全然そうでない		0.0%	1	2.5%		0.0%	1	0.4%
無回答	3	10.0%		0.0%	2	1.2%	5	2.1%

表6-3 技術をみがく重要性

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
6. とてもそうである	5	16.7%	11	27.5%	47	27.2%	63	25.9%
5.	13	43.3%	11	27.5%	63	36.4%	87	35.8%
4.	8	26.7%	13	32.5%	44	25.4%	65	26.7%
3.	1	3.3%	3	7.5%	12	6.9%	16	6.6%
2		0.0%	1	2.5%	4	2.3%	5	2.1%
1. 全然そうでない		0.0%		0.0%		0.0%	0	0.0%
無回答	3	10.0%	1	2.5%	3	1.7%	7	2.9%

[教員の資質の向上のための取り組み]

表7 教育能力の向上

(複数回答)

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
図書・教材費を保障	23	76.7%	36	90.0%	88	50.9%	147	60.5%
授業についての意見交換	15	50.0%	17	42.5%	112	64.7%	144	59.3%
授業の準備時間を保障	14	46.7%	14	35.0%	47	27.2%	75	30.9%
組織的に教育評価	12	40.0%	13	32.5%	23	13.3%	48	19.8%
授業公開を推進	2	6.7%	4	10.0%	22	12.7%	28	11.5%
その他	6	20.0%	6	15.0%	14	8.1%	26	10.7%
授業研究の指導者		0.0%	2	5.0%	7	4.0%	9	3.7%
無回答	2	6.7%		0.0%	18	10.4%	20	8.2%

表8 研究能力の向上

(複数回答)

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
学会への参加を推奨	26	86.7%	30	75.0%	143	82.7%	199	81.9%
研究の仲間づくり	17	56.7%	22	55.0%	60	34.7%	99	40.7%
研究費を保障	23	76.7%	34	85.0%	35	20.2%	92	37.9%
年報を作成する	25	83.3%	36	90.0%	17	9.8%	78	32.1%
研究時間を保障	13	43.3%	17	42.5%	32	18.5%	62	25.5%
学内での発表する場	13	43.3%	20	50.0%	28	16.2%	61	25.1%
研究の指導者を定める	7	23.3%	2	5.0%	13	7.5%	22	9.1%
その他	2	6.7%	1	2.5%	6	3.5%	9	3.7%
無回答	2	6.7%		0.0%	22	12.7%	24	9.9%

表9 総合的な能力の向上

(複数回答)

	大学n=30		短大n=40		養成所n=173		計n=243	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
研修に出す	18	60.0%	29	72.5%	151	87.3%	198	81.5%
意図的に業務分担	8	26.7%	14	35.0%	114	65.9%	136	56.0%
講師依頼に積極的に	18	60.0%	25	62.5%	81	46.8%	124	51.0%
大学院への進学	20	66.7%	32	80.0%	31	17.9%	83	34.2%
その他		0.0%	1	2.5%	7	4.0%	8	3.3%
無回答	4	13.3%	1	2.5%	10	5.8%	15	6.2%

[養成所と大学・短大との相互交流]

表10-1 業務委託の科目

	n = 173	
1. はい	3	1.7%
2. いいえ	166	96.0%
無回答	4	2.3%

表10-2 特定科目の聴講生

	n = 173	
1. はい	1	0.6%
2. いいえ	168	97.1%
無回答	4	2.3%

表10-3 大学・短大での科目履修

	n = 173	
1. はい	4	2.3%
2. いいえ	165	95.4%
無回答	4	2.3%

表10-4 専門職の資格取得

	n = 173	
1. はい	3	1.7%
2. いいえ	165	95.4%
無回答	5	2.9%

表11-1 他大学との単位互換

	n = 70	
実施している	21	30.0%
実現に向けた取組み	27	38.6%
考えていない	22	31.4%

表11-2 専門学校での学修を認定

	n = 70	
実施している		0.0%
実現に向けた取組み	29	41.4%
考えていない	39	55.7%
無回答	2	2.9%

表11-3 科目履修生制度

	n = 70	
実施している	43	61.4%
実現に向けた取組み	10	14.3%
考えていない	17	24.3%

表11-4 聴講生制度

	n = 70	
実施している	37	52.9%
実現に向けた取組み	9	12.9%
考えていない	21	30.0%
無回答	3	4.3%

表11-5 研究生制度

	n = 70	
実施している	36	51.4%
実現に向けた取組み	6	8.6%
考えていない	28	40.0%

表11-6 大学院を設置

	n = 30	
実施している	16	53.3%
実現に向けた取組み	14	46.7%
考えていない		0.0%

表 1 2 現状の認識（主な記述内容）

と ら え て い る	基本的な生活習慣および他者との関係		
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣が身につけていない ・生活の知恵が身に付いていない ・過保護で育っている ・積極的に行動がとれない ・相手の立場を思いやることができない ・リーダーシップがとれない ・同学年同士のみでの少ない仲間づきあい ・他人と協調しなくても生活できていた ・異なる意見との交流ができない ・個性がつよい ・あるべき論では納得しない ・豊かな時代ののびのびした個性は看護に有益 ・優しい気持ちを持っている ・現代の学生も基本的にはあまり変わらない 		
学 生 像	学力および動機・目的意識		
	<ul style="list-style-type: none"> ・単位の取得が困難 ・高校時代からの学習の積み重ねが新カリキュラムに合わない ・偏差値によりあきらめられた学生 ・学習する習慣を身につけていない ・学習の振り返りができていない ・考えることよりもハウツウ的理解をする ・身体を動かすことによる理解のしかたをする ・目的意識が弱い ・親の希望のまま入学してくる ・入学の動機が弱い ・看護を志向してはみたものの、進路に不安を持つ者が増えてきた 		
学 校 と し て の 問 題	養成所	短期大学	大学
	<ul style="list-style-type: none"> ・過密なカリキュラム ・内容的には4年間に相当する ・教育の魅力がない ・大部分を非常勤講師に依存する体制 ・予算が縮小され、充実した教育環境にない ・病院運営状況の悪化から教育環境の整備が進まない ・専任教員に限界がある ・中途半端で教員のストレスが多くなるのみ ・教員の考え方に問題があるのか ・設置主体が多様すぎる ・大学化のなかで専門学校は単なる通過点になるのではないか ・現在のところ少子化による影響はないようにみえるが、この1-2年で必ずやってくる 	記述内容なし	記述内容なし

表 13 少子社会における看護教育のあり方（主な記述内容）

<p>入学してきた学生を大切に育てていく教育</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な人材を看護職者として育成する ・ 学生が看護に魅力や関心を持ち続け、専門性に対する認識や誇り、確信を高められる教育 ・ 学生が満足して教育を受けられるような関わり ・ 学生との関わりを大切にする ・ 若者の関心を引く教育方法 ・ 学生自身の学習目標を大切にする ・ 学生が自ら学んでみたいとの魅力を感じさせる教育体制 ・ 学生が自ら行動しなければ問題解決できないような授業 ・ 個を重視した教育方法 ・ 多様化した現在の中でどのように生きていくか共に考えられる教育 ・ 専門的技術の修得の場であると同時に全人的教育の場であるべき ・ 看護を学ぶ前の生活のあり方にも目を向けていく ・ 自分の能力を活かせたと実感できる教育
<p>看護の質に責任を持つ教育</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護の理念に基づいた領域・内容を明確にしその知識・技術を修得させる ・ 技術教育を大切にする ・ 手先の技術ではなく、看護の理想的、科学的な面の価値の推進 ・ 臨床実習の充実 ・ 在宅看護、母性看護、小児看護の充実 ・ 健康に焦点をあてた科目をベースにする ・ 健康生活を整える過程に結びつく学びにシフト ・ 自分で考え行動できる実践家の育成 ・ 単科ではなく総合大学の中での教育 ・ 多種の職種と連携をとりながら看護を実践していく ・ 大学院のあり方の検討と継続教育との連携をさらに充実させる ・ 卒業生の卒業後の教育をも視野に入れて計画する ・ 学歴よりも看護の本質、看護の概念、看護の実践力をもった教員の資質
<p>サービスとしての看護を追求する教育</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 顧客のニーズを満たすためのサービスの方法を組織的に考えて行く ・ 病院だけではなく地域など幅広い活動の場への興味関心を持たせる ・ 国民の立場に立って提供すべき看護を考える ・ 入手しやすい看護を考える ・ 看護の市場をせまくしない ・ さしあたっての老人対策だけではなく、前向きの援助活動ができる看護職の育成 ・ 魅力的な職業として社会に認められるようにする ・ 若者から評価される社会的ステータスの確保 ・ 大卒が現場で働ける実力を備え、社会にアピールする ・ 地域社会が看護大学に期待することの把握とその要請に応じた教育・研究 ・ 看護の枠にとらわれることなく、広く社会に発言できる人材の育成 ・ 看護が創りだす生活文化 ・ 看護者の存在感、可能性を高める

表 1 4 教育上の対策および国策への提言（主な記述内容）

学 校 レ ベ ル で の 対 策	カリキュラムおよび教育方法の改善
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念、目標にそったカリキュラムの調整 ・カリキュラムの弾力化 ・専門学校は短大、大学をベースにして入学後に専門を選ぶようにする ・倫理的内容の強化
	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が十分理解して学習できる条件を整え、時間をかけても単位が修得できるようにする ・選択科目を多く取り入れる ・教育方法の工夫 ・あるべき論ではなく対応論を考える ・演習を多くして体験の中から人間を見つめられるようにする ・体験学習を多くして、意味や、理論を学べるようにする ・全てを与えずにハード・ソフト面での工夫 ・詰め込みではなく、主体的に学習できるような授業の工夫 ・ゼミによる少人数学習 ・細やかな評価を行っていく ・講師間の連携 ・大学のユニーク性の強調 ・魅力ある学校づくり
の 対 策	入学試験および学生数の改善
	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験の工夫 ・大学卒社会人、社会人が入学しやすい入学試験制度 ・一般短大、大学・社会人の入学生を増やす ・少数精鋭教育とする ・定員数を減少
	教員の資質の向上
国 策 へ の 提 言	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の専門領域におけるレベルの向上 ・教師の教育方法に関する研究がより多く必要 ・互いの専門分野の公開授業など教育方法の追求 ・専任教員の臨地実習指導力の向上 ・研修機会の確保、内地留学制度の確立 ・研究の充実をはかるため時間的、財政的支援
	<ul style="list-style-type: none"> ・大学教育での学習を全てのナースに ・養成所での養成を見直す ・大学への編入を容易にする ・せめて4年間の教育期間にする ・看護基礎教育期間の延長—最低4年以上に ・研修制度を4年目に置く ・大学教育一本にしてさらに卒後教育を制度化する ・早期に看護教育の一本化を計る ・保健婦助産婦看護婦法の見直し
	<ul style="list-style-type: none"> ・国民全員が看護教育を受け、健康の保持増進への取り組みや在宅療養での援助が実践できる能力を養う

少子・高齢社会における看護教育においてさらに強化および新たに必要とする教育内容と方法
自由記述（大学：11校、短大：22校、養成所：104校）

表 15 学生の生活様式の変化への対応（主な記述内容）

	養成所	短期大学	大学
基本的 生活 習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験 ・生活科学 ・体力・気力を養う内容 ・自立 ・独立心 ・自分自身で対処する方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生自身の実生活における日常生活に関する内容 ・生活に対する考え方 ・自立する力 ・自分で考える 	記述内容なし
社会人 としての マナー	<ul style="list-style-type: none"> ・一般常識の修得学習 ・社会人としての交流の増加 ・社会性 ・自分の考えをきちんと述べる訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲が見え、その場に応じて自分がどう行動すべきか考えられるような内容 ・社会性－集団生活 ・一般教養の充実 	記述内容なし
他者 との 関係	<ul style="list-style-type: none"> ・人間同士が関わる意味 ・対人関係訓練 ・人間関係を深めるための演習 ・他者との関係を築くための内容 ・多くの人と交流が持てる機会 ・自己の確立と人間関係 ・自分自身を見つめる時間と方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係論 ・他者への配慮 ・他人と対話ができる ・自分と違う他者の存在を認める ・よい人間関係の作り方 ・グループ内での協力、協働、協調 ・弱い立場の人の心が理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・対人関係の取り方 ・あらゆる年代層の人たちと話せること

表 1 6 自己学習力の育成と基礎学力の向上に向けて（主な記述内容）

	養成所	短期大学	大学
自己学習力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・自己学習能力を高めるための内容 ・個々の学生が課題に直面できるような内容 ・主体的学習できる能力 ・自ら学ぶという意識の開発 ・教育内容が幅広くなりすぎないようにする ・教えるのではなく学び合う授業形態 ・論的思考の訓練 ・時間数を増す 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学生が・・・できる」という目標の設定 ・論理的に物事を相手に伝えられるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己啓発 ・課題達成の奨励 ・生涯学習の奨励
レディネスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・補強教育 ・基礎学力をつける ・科学的に思考する能力 —看護技術の学習に向けて— ・体験する技術項目の増加 ・基礎看護技術の演習が自由に訓練できる機会を多くする ・実習室の拡充と自由開放時間の延長 —看護の対象理解のために— ・看護の対象がイメージできるような内容 ・人間を総合的に捉えるための内容 ・愛について（人、動物、物へのやさしさ） 	<p>記述内容なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活を営む人間の実態 ・生活に視点をあてた教育内容 	<p>こどもをさっと抱き上げる、お年寄りに手をさしのべるといった行為ができるようにすること</p>
興味・関心を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者を主体とした授業の取り組み ・選択科目の導入 ・パソコンを使う授業を多くする ・実習時間の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・個性や個々の能力に合わせた個別的な教育内容と方法 ・学生が主体となり自主的に運営できる教育内容と方法 ・討論会 ・グループワーク ・交換授業 ・情報化教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な大学づくり ・個別性を重んじた教育 ・情報関連科目をふやす

表17 看護職者としての基礎的能力の強化（主な記述内容）

	養成所	短期大学	大学
確 実 な 看 護 実 践 力	<ul style="list-style-type: none"> ・看護過程展開能力 ・看護実践能力 ・日常生活援助技術の強化 ・基礎看護技術の充実 ・ケア、ケアリング ・共感能力育成 ・老人ケア、在宅ケアの充実 ・母性、小児看護学の強化 ・対象である個人・家族の理解 ・地域における保健医療福祉のネットワークづくり ・リーダーシップ、メンバーシップの役割理解の演習 ・健康科学 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護基礎科目に重点を置く ・基本的な知識・技術 ・基礎看護技術の強化 ・セルフケア ・ケアリングの内容の強調 ・家族看護学 ・保健、福祉に関する内容 ・専門基礎科目と看護学が統合しやすい方法 ・健康という概念を基盤にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践していく上で使える具体的な方法原則 ・ケアの実践 ・在宅看護方法、方法論 ・医療論の中に福祉の内容を増やす ・福祉関係教育 ・何をなすべきかを明確にして他職種と協調できる ・チーム医療の考え方をより深く入れる
自 律 性	<ul style="list-style-type: none"> ・判断力 ・自己決定 ・自己責任について強調 ・職業倫理を身につける教育内容 ・職業に対する誇り ・倫理的な認識 ・専門職としての成長 ・職業人と社会使命 	<ul style="list-style-type: none"> ・判断能力の育成 ・自己の意志決定能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・判断能力 ・専門職としての認識を深める（看護職としてのアイデンティティの確立） ・プロフェッショナルとしての成長 ・専門職としての倫理、責任と意志決定の重要性
患 者 の 権 利 擁 護	<ul style="list-style-type: none"> ・人間学 ・人間の存在について ・患者の権利に関する内容 ・法律と人権 	記述内容なし	記述内容なし
経 済 的 視 点	<ul style="list-style-type: none"> ・医療経済に関する内容 ・経済面を考慮に入れた専門職としてのあり方の強調 	記述内容なし	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の財政的視点

表 18 社会における看護の位置づけの発展と国際的視野の拡大（主な記述内容）

	養成所	短期大学	大学
社会における看護の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・社会と看護の位置づけ、関連性 ・看護経営 ・サービスとしてのとらえ方 ・看護の内容、場の拡大 ・多分野との交流 ・これからの共生社会をになっ ていけるための基礎 ・社会の仕組みや情勢 ・看護の発展性を模索するよ うな講義とカリキュラムの充 実 ・ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院以外の人々の生活の場 における看護の必要性 ・病院や施設に限らないフイ ールドでの実習、教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活者の視点
国際的視野	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流 ・国際的な視野を広げるため の機会 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会に対応できる看護 職の養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際看護

就職指導の考え方について

表1 指導事項別指導への認識 n=243

	とても指導		まあまあ指導		殆どしない		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
継続教育が充実した職場を勧める	171	70.4	43	17.7	14	5.8	15	6.2
基本的な看護が行える職場を勧める	137	56.4	77	31.6	11	4.6	18	7.4
就職浪人を避けるよう指導	134	55.1	57	23.5	36	14.8	16	6.6
専門領域を意識した職場選択を指導	130	53.5	79	32.5	21	8.6	13	5.3
自分で就職先を開拓させる	116	47.7	72	29.6	36	14.9	19	7.8
国際的な場での活動を視野に入れた指導	41	17.3	119	49.0	68	27.9	14	5.8
就職試験での面接の受け方指導	41	17.3	93	38.7	90	37.1	19	7.8
新たな職場開拓を意図した就職指導	28	11.5	98	40.3	96	39.5	21	8.6

表2 職場選択の指導に関する認識「とても指導する」の多い順（大学） n = 30

指導内容	指導程度の認識	学校数 (%)
継続教育が充実した職場を勧める	とても指導する	21 (70.0)
	まあまあ指導する	5 (16.7)
	殆ど指導しない	1 (3.3)
	無回答	3 (10.0)
専門領域を意識した職場選択を指導	とても指導する	21 (70.0)
	まあまあ指導する	7 (23.3)
	殆ど指導しない	0
	無回答	2 (6.7)
自分で就職先を開拓させる	とても指導する	20 (66.7)
	まあまあ指導する	7 (23.3)
	殆ど指導しない	0
	無回答	3 (10.0)
国際的な場での活動を視野に入れた指導	とても指導する	18 (60.0)
	まあまあ指導する	10 (33.3)
	殆ど指導しない	1 (3.3)
	無回答	1 (3.3)
基本的な看護が行える職場を勧める	とても指導する	16 (53.3)
	まあまあ指導する	10 (33.3)
	殆ど指導しない	0
	無回答	4 (13.3)
就職浪人を避けるよう指導	とても指導する	15 (50.0)
	まあまあ指導する	8 (26.7)
	殆ど指導しない	4 (13.3)
	無回答	3 (10.0)
新たな職場開拓を意図した就職指導	とても指導する	9 (30.0)
	まあまあ指導する	14 (46.7)
	殆ど指導しない	3 (10.0)
	無回答	4 (13.3)
就職試験での面接の受け方を指導	とても指導する	2 (6.7)
	まあまあ指導する	13 (43.3)
	殆ど指導しない	13 (43.3)
	無回答	2 (6.7)

表3 職場選択の指導に関する認識「とても指導する」の多い順(短大) n=40

指導内容	指導程度の認識	学校数 (%)
継続教育が充実した職場を勧める	とても指導する	27 (67.5)
	まあまあ指導する	8 (20.0)
	殆ど指導しない	3 (7.5)
	無回答	2 (5.0)
基本的な看護が行える職場を勧める	とても指導する	24 (60.0)
	まあまあ指導する	11 (27.5)
	殆ど指導しない	2 (5.0)
	無回答	3 (7.5)
就職浪人を避けるよう指導	とても指導する	23 (57.5)
	まあまあ指導する	8 (20.0)
	殆ど指導しない	7 (17.5)
	無回答	2 (5.0)
専門領域を意識した職場選択を指導	とても指導する	21 (52.5)
	まあまあ指導する	14 (35.0)
	殆ど指導しない	3 (7.5)
	無回答	2 (5.0)
自分で就職先を開拓させる	とても指導する	20 (50.0)
	まあまあ指導する	15 (37.5)
	殆ど指導しない	3 (7.5)
	無回答	2 (5.0)
国際的な場での活動を視野に入れた指導	とても指導する	8 (20.0)
	まあまあ指導する	21 (52.5)
	殆ど指導しない	9 (22.5)
	無回答	2 (5.0)
就職試験での面接の受け方を指導	とても指導する	4 (10.0)
	まあまあ指導する	14 (35.0)
	殆ど指導しない	20 (50.0)
	無回答	2 (5.0)
新たな職場開拓を意図した就職指導	とても指導する	1 (2.5)
	まあまあ指導する	20 (50.0)
	殆ど指導しない	17 (42.5)
	無回答	2 (5.0)

表4 職場選択の指導に関する認識「とても指導する」の多い順位（養成所） n = 173

指導内容	指導程度の認識	学校数 (%)
継続教育が充実した職場を勧める	とても指導する	123 (71.1)
	まあまあ指導する	30 (17.3)
	殆ど指導しない	10 (5.8)
	無回答	10 (5.8)
基本的な看護が行える職場を勧める	とても指導する	97 (56.1)
	まあまあ指導する	56 (32.4)
	殆ど指導しない	9 (5.2)
	無回答	11 (6.4)
就職浪人を避けるよう指導	とても指導する	96 (55.5)
	まあまあ指導する	41 (23.7)
	殆ど指導しない	25 (14.5)
	無回答	11 (6.4)
専門領域を意識した職場選択を指導	とても指導する	88 (50.9)
	まあまあ指導する	58 (33.5)
	殆ど指導しない	18 (10.4)
	無回答	9 (5.2)
自分で就職先を開拓させる	とても指導する	76 (44.0)
	まあまあ指導する	50 (29.0)
	殆ど指導しない	33 (19.1)
	無回答	14 (8.1)
就職試験での面接の受け方を指導	とても指導する	35 (20.2)
	まあまあ指導する	66 (38.2)
	殆ど指導しない	57 (33.0)
	無回答	15 (8.7)
新たな職場開拓を意図した就職指導	とても指導する	18 (10.4)
	まあまあ指導する	64 (37.0)
	殆ど指導しない	76 (44.0)
	無回答	15 (8.7)
国際的な場での活動を視野に入れた指導	とても指導する	16 (9.3)
	まあまあ指導する	88 (50.9)
	殆ど指導しない	58 (33.5)
	無回答	11 (6.4)